



ノルマ未達成の場合は店舗入替

高田中心部再生会議主催の『みんなで語ろう！まちなか再生フォーラム』に、党市議団の上野、平良木、樋口の3議員が参加してきました。

ここで行われた高松丸亀町商店街振興組合理事長、古川康造さんの講演は驚きの連続でした。

古川さんなどが取り組んできた中心部再生策では、中心部の土地所有者と「まちづくり会社」との間で60年間の定期借地契約を締結、土地を買い取ることなしに新しい街区をつくり再開発を行ってきました。さらに、各テナントには年間売り上げノルマを課し、達成できない場合は、たとえ地権者であっても他のテナントと同じように営業権を認めず、店舗入れ替えを行ってきました。これまでの常識では考えられなかった取り組みです。

古川さんはまた、中心部再生にあたって大事なことは、地権者はじめ商店街の皆さんの単なる「やる気」ではなく、それが「本気」かどうか、とも指摘しました。とても触発されたフォーラムでした。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.257 2010年11月14日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)
 樋口 良子 544-6802 (中門前3)
 上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)
 平良木 哲也 525-9096 (上中田)

未来へ確信。10万人が赤旗まつりにつどう

日本共産党の機関紙、赤旗まつりが6日、7日の2日間、東京は夢の島で開催されました。幸い秋晴れ、会場は10万人を超える人たちが集い、交流を深めました。

赤旗まつりは今回で40回目。当初の計画が国政選挙と重なったことなどから4年ぶりの開催となりました。党市議団からは橋爪議員が参加しました。橋爪議員は、東京吉川会総会に招待されていたこともあって初日だけの参加でした。

橋爪議員は「長年、搾乳をしていたので参加できませんでした。今回が初めてです。とても良かった。参加し

た人たちはいまの世の中をよくしたいという人たちばかりです。たくさんの人たちと出会い、日本の政治の異常をただす方向と力を感じたのではないかな。私は、ちょっと欲張って物産店、職場・政治新聞コーナーなど、いろんなところを歩き回りました。足が痛くなったけれど、懐かしい人たちと再会し、作家のあさのあつこさんと市田書記局長のバッテリートークを聴いて元気をもらいました」とのべていました。

今回の祭りには、上越市から党員、後援会員、支持者など20万人を超える人が参加しました。



地方議員の活動紹介パネルには、なんと、党上越市議団とくびき野森林組合との懇談写真が……。



日本共産党議員団は9日、APERC首脳会議を前に大問題となつてい

農業と地域経済に大打撃をあたえるTPPへの不参加を国に求めること、米価暴落や猛暑被害への対策を強めること、県産コシヒカリの品質向上・品種改良推進を県に求めること、などを要請しました。

対応した川上農林水産部長は、農業を守りたい気持ちと同じと、共感を寄せました。

地域政治新聞、職場新聞コーナーでは、橋爪議員の市政レポートが紹介されていました。同レポートは1985年に発行、以来25年間毎週発行を続け、来年前半には1500号に到達します。裏面に書き綴られた随想は、『五センチになった母』など3冊の本になりました。



農業守れ TPP問題で 緊急要請